

# 代表質問

## 新年度の財源確保、公明党の予算要望への対応、信号機の改良と隅切りについて



公明党  
鯨井 眞佐子

### 平成22年度予算について

**問** 厳しい財政状況の中、平成22年度予算はどのように財源確保に努力されたのか伺う。

**市長**

本市では、市税、国民健康保険税の徴収率の向上が必要と考え、組織の見直し、日曜開庁、夜間窓口の開設、インターネット公売、千葉県滞納整理推進機構との共同滞納整理、搜索の実施、平成21年度からは、コンビニ収納の開始、休日臨戸、多重債務者相談等を実施しました。

**問**

公明党として提出した市長への要望の進捗状況について伺う。

**市長**

所管別要望事項ごとに申し上げます。総務部門では、新規事業として、信号機を、現在実施している市道115・216号線交差点改良事業に基づき設置する予定です。カーブミラー及び防犯灯は、前年度並みの予算を確保し、平成22年度におけるナトリウム灯の設置は、通学路を中心に、八街中学校区を整備します。市民部門では、がん検診の新規事業として、前立腺がん

の検診を実施し、女性特有のがん検診の一部無料化も引き続き、実施します。さらに、児童医療費助成事業では、現在、小学校3年生までの対象を、小学校6年生まで拡大を図ります。建設部門では、市道114・116・210号線交差点改良事業を新規事業として開始します。教育委員会部門では、笹引小学校及び八街東小学校の校舎改築事業、実住小学校屋内運動場及び八街中学校の耐震補強事業、八街中学校の武道場建設事業を実施します。経済環境部門では、平成21年度に引き続き、低炭素社会対応型浄化槽の設置について、平成22年度は、35基を補助事業として計上しました。

### 道路行政について

**問** 国道409号四木入口交差点改良の進捗状況は如何か。

**市長**

四木入口の交差点改良は、地元である六区の皆さんにとっては、永年の懸案であり、市としても国道渋滞緩和のため、一日も早く事業化されることを望んでいます。そのような

中、事業主体となる県では、交差点改良によって移転を余儀なくされる地権者と何年も交渉を進めその結果、ようやく基本合意に至ったと聞いています。

**問**

見通しの悪いT字路、交差点の隅切りは市民の要望であるが、その取り組みは如何か。

**市長**

平成21年度は国道409号と市道113号線の隅切り幅や市道一区1号線の交差点部の隅切りの改修を実施しました。今後については、地権者のご理解とご協力をいただきながら、整備効果の高い箇所から整備を進めていきたいと考えています。

**問**

赤道について、いつ、国から移管され、今後は、どのように活用していくのか考えを伺う。

**市長**

赤道と青道については、平成12年度から5力年をかけて国から八街市へ譲与されました。その面積は概ね32ヘクタールで、平成17年4月1日から市において機能管理及び財産管理を行っています。その中には、機能を有していない赤道・青道も多数あり、状況を把握しながら地元の関係者と協議をした上で、必要な箇所については、整備していきたいと考えており、現況が異なる赤道等については、払い下げ等の手続をしています。

### 関連質問

京増良男 議員

**問** 朝陽小学校脇の信号機は、いつ改良されるのか伺う。今の現状の中で、例えば細い道を一方通行にするとか、さらに改良された信号機に変えることができないか伺う。

**市長**

現状では、用地の確保ができませんので、朝陽小学校の建て替えの際、校舎、体育館、グラウンドを前に出して、余裕がとれるようなスペースに充てる計画です。

**問**

平成22年度は第2次基本計画の初年度にあたるので、隅切りについて、1年で、2カ所か、3カ所と目標を立てて年々隅切りをする計画を立てては如何か。

**建設部長**

本市には、隅切りのない危険箇所が多くありますので、地権者の協力を得られるような箇所については、改善に向けて努力していきたいと考えています。また、図面上で、危険箇所と思われる箇所等を把握し、段階的な形で整備していきたいと考えています。